

## 「就労支援フォーラム NIPPON 2018」に参加してきました！！

障害者の就労支援は地域の就労支援事業所が主となっており、医療機関での就労支援の役割は明確とは言えません。また、就労支援は精神障害者や知的障害者を対象としていることがほとんどで、若年の身体障害者や高次脳機能障害者の支援は希薄となっている現状があります。リハビリテーション科では2017年より就労支援チームを立ち上げ、医療機関としての立場から就労支援に携わる試みを行っています。平成30年12月8日、9日の2日間、東京で開催された就労支援フォーラムに参加しポスター発表をさせていただきました。フォーラムではリハビリテーション専門職だけではなく、看護師や医療相談員、地域の就労支援関係者といった多職種が参加し、障害者に対する就労支援の考え方や支援方法等を学ぶ機会となりました。今後は岐阜地域における就労支援のシステムを構築していくために多職種と連携協力し、医療機関が就労支援の一役割を担えるように取り組んでいきたいと考えています。

リハビリテーション科 作業療法士 塩崎章嘉

